

【題材名】 社会科

【内容】 ①Google meet でブラジル在住の人と話をする。  
②ブラジルのことを質問する。

【使用アプリ】 Google meet

【事例紹介】 社会科の地理分野「時差の計算」の単位において、日本と世界の時差を体感するため、ブラジルに住む日系2世の方にご協力いただき、Google meet でオンライン通信を行い通話を行った。

【解説】 ブラジルの外の様子を映してもらうことで時差を体感することができた。また、世界の地域区分「南アフリカ大陸」の単位ではブラジルと日本のつながりも教科書に載っているため、ブラジルの食べ物や文化、なぜ日本語が話せるのかなどもお話しいただき、日本とのつながりも理解することができた。

会話は日本語です



【題材名】 理科「生物レポート」

【内容】 ①興味を持った生き物について調べる。  
②レポートを作成する。  
③レポートの相互評価を行う。

【使用アプリ】 ドキュメント・スプレッドシート

【事例紹介】 1年生の生物の単位では、自分の興味のある生き物について調べ、ドキュメントを使用し、学習したことを含めたレポートを作成した。写真や文字を工夫し、個性あふれるものとなった。

【解説】 相互評価を通してお互いの努力を認め合う活動ができたと思われる。



番号	氏名	コメント
1	石川真央	色がつけられていたので見やすかったです。詳しくかいていいなと思いました。
2	黒川楓大	スピードが速いのが分かりました。
3	今村優花	大事な言葉を前に書いてわかりやすかったです。
4	前田悠太	ロンドンでできていて見やすかったです
5	橋本蓮華	いいかは、図がいいですね？
6	豊川宇智	イルカのはが100くらいあることがわかりました
7	宇治紗	重要なところの色がついていてわかりやすかったです。
8	大石和太郎	イルカってすごくスピードが出るんだね。
9	大西翔大	イルカのはとも多いんだね。(・∀・)
10	大塚蓮太郎	イルカかわいいですね (・∀・)
11	高平華音	イルカのはの数にびっくりしました。
12	鹿村響	自己100%もははえているのがびっくりしました。
13	小嶋優可	
14	宮松翔真	
15	片山真子	色い字と黒い字に分けていてわかりやすかったです。
16	藤田真央	図の穴で呼吸してんだ！イルカがかわいい！
17	藤田虎樹	イルカはつぎでサメを倒滅させられます！

【題材名】 数学科

- 【内容】
- ①コインをトスする。
  - ②スプレッドシートに結果を入力する。
  - ③学級全員のデータをグラフにして提示する。

【使用アプリ】 スプレッドシート

【事例紹介】 数学「確率」の単元ではスプレッドシートを使い、コインの表が出る確率について考えた。生徒にコインの表と裏のどちらが出たかを20回入力してもらい、関数を用いて自動でグラフ化させることで、視覚的に捉えることができた。

【解説】 回数が増えるにつれて、表が出る確率が50%に近づくことを体感しながら理解することができた。

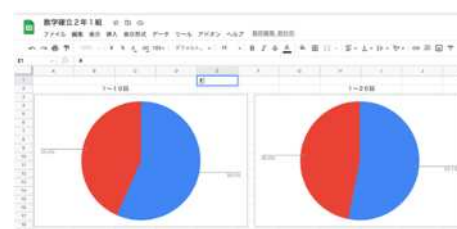
図Ⅰは生徒の入力画面、図Ⅱは各回の割合のグラフ、図Ⅲは1～10回目と1～20回目のグラフを表しており、前の画面にはグラフを提示した。

図Ⅰ

図Ⅱ



図Ⅲ



【題材名】 ビデオカメラで高画質のオンライン中継

【内容】 各行事をオンライン中継する。

【使用アプリ】 Google meet

【事例紹介】 ビデオカメラをタブレットの外付けカメラにすることで望遠ができるようになり、中継が見やすくなった。西中では市総体の壮行会が雨天の場合使用するため準備したが、当日は晴れだったため運用することはなかった。リハーサルの時は成功したので今後活用機会を増やしていきたい。

(教育委員会主幹講評) こちらもGIGAスクール構想により整備された、高速大容量のネットワークシステムの活用事例を紹介していただきました。教室とブラジルをGoogle Meetでつなぎ、現地のゲストティーチャーとオンライン授業！この1学期に一番遠くの方とつながった事例です。タイムラグも殆どなくスムーズに会話ができていて、子どもたちも興味津々でした。理科・数学の事例は、今までアナログでしていたものをデジタル化したものです。「不易と流行」の言葉通り、アナログとデジタルの特性を生かして「ハイブリッド」の教育実践を行っていきましょう。